令和 4 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　香川県　　総務省

－ 目次 －

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	丸亀病院	3
-	白鳥病院	4
高松市	みんなの病院	5
高松市	市民病院塩江分院	6
坂出市	市立病院	7
さぬき市	さぬき市民病院	8
三豊市	みとよ市民病院	9
三豊市	西香川病院	10
土庄町	国保土庄中央病院	11
小豆島町	内海病院	12
綾川町	綾川町国民健康保険陶病院	13
三豊総合病院企業団	三豊総合病院	14
小豆島中央病院企業団	小豆島中央病院	15

病院事業決算状況（令和４年度）

都道府県名	香川県
市町村・組合名	
病院名	中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	47,233 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が感へ災地　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般	526	69.9	73.0	69.9
療養	-	-	-	-
結核	5	47.9	43.9	29.1
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	533	69.5	72.4	69.3
平均在院日数（一般病床のみ）		9.9	9.0	10.1

設立団体の状況		
人口（人）		950,244
決算規模（千円）		501,282,880
標準財政規模（千円）		268,414,402
財政力指数		0.45137
経常収支比率（%）		94.0
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.9
	将来負担比率（%）	170.9

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	25,549,367			
１ 経常収益	25,547,029			
（１）医業収益	19,800,190			
（うち修正医業収益）	19,406,122			
① 入院収益	12,917,533			
② 外来収益	5,928,083			
診療収入計	18,845,616			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	954,574			
（うち他会計負担金）	394,068			
（２）医業外収益	5,746,839			
（うち国・都道府県補助金）	3,187,317			
（うち他会計補助・負担金）	1,426,549			
（うち長期前受金戻入）	753,494			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	2,338			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	23,828,807			
２ 経常費用	23,820,336			
（１）医業費用	22,672,048			
① 職員給与費	11,167,965	56.4	59.4	52.8
② 材料費	6,901,145	34.9	26.1	31.5
（うち薬品費）	3,090,616	15.6	14.0	17.3
（うち薬品費以外の医薬材料費）	3,807,113	19.2	11.8	13.9
③ 減価償却費	1,417,632	7.2	8.7	7.7
④ 経費	3,082,376	15.6	22.1	18.0
（うち委託料）	1,822,570	9.2	11.7	10.7
⑤ 研究研修費	84,642			
⑥ 資産減耗費	18,288			
（２）医業外費用	1,148,288			
（うち支払利息）	195,459	1.0	1.0	0.9
（３）特別損失	8,471			
損益 経常損益	1,726,693			
損益 純損益	1,720,560			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.2		103.3	102.8
医業収支比率	87.3		85.5	90.3
修正医業収支比率	85.6		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.2		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	7.1		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	99.6		91.9	95.1

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円・%）

区分	決算額
資産合計	33,718,090
１ 固定資産	20,369,285
（１）有形固定資産	19,230,754
（２）無形固定資産	5,035
（３）投資その他の資産	1,133,496
２ 流動資産	13,348,805
（１）現金及び預金	9,101,555
（２）未収金及び未収収益	3,958,706
（３）貸倒引当金（△）	30,397
（４）貯蔵品	300,277
３ 繰延資産	-
負債合計	28,534,846
１ 固定負債	20,912,975
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,284,338
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	93,638
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	2,534,999
（７）リース債務	-
２ 流動負債	5,081,562
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,498,230
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	70,367
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	876,194
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	2,532,207
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	2,540,309
（１）長期前受金	11,114,614
（２）長期前受金収益化累計額（△）	8,574,305
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	5,183,244
１ 資本金	6,178,126
２ 剰余金	-994,882
（１）資本剰余金	249,950
（２）利益剰余金	-1,244,832
負債・資本合計	33,718,090
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,028,862	1,820,617
資本勘定繰入	646,002	701,959
計	2,674,864	2,522,576

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-
令和２年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	5.5
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和４年度）

都道府県名	香川県

市町村・組合名	
病院名	丸亀病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,946 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	6	指定病院の状況	臨　感　輪
許可公営企業		看護配置	１５：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	215	41.8	43.2	42.4
感染症	-	-	-	-
計	215	41.8	43.2	42.4
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口 (人)		950,244
決算規模 (千円)		501,282,880
標準財政規模 (千円)		268,414,402
財政力指数		0.45137
経常収支比率 (%)		94.0
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	9.9
	将来負担比率 (%)	170.9

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,554,536			
１ 経常収益	1,554,079			
（1）医業収益	897,586			
（うち修正医業収益）	872,596			
① 入院収益	572,274			
② 外来収益	272,469			
診療収入計	844,743			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	52,843			
（うち他会計負担金）	24,990			
（2）医業外収益	656,493			
（うち国・都道府県補助金）	59,820			
（うち他会計補助・負担金）	562,688			
（うち長期前受金戻入）	30,348			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	457			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,842,594			
２ 経常費用	1,842,369			
（1）医業費用	1,797,932			
① 職員給与費	1,272,367	141.8	59.4	105.1
② 材料費	145,282	16.2	26.1	9.8
（うち薬品費）	131,173	14.6	14.0	6.8
（うち薬品費以外の医薬材料費）	13,398	1.5	11.8	1.6
③ 減価償却費	74,365	8.3	8.7	12.8
④ 経費	302,881	33.7	22.1	35.3
（うち委託料）	164,018	18.3	11.7	17.0
⑤ 研究研修費	2,539			
⑥ 資産減耗費	498			
（2）医業外費用	44,437			
（うち支払利息）	981	0.1	1.0	2.4
（3）特別損失	225			
損益 経常損益	-288,290			
損益 純損益	-288,058			
累積欠損金	4,159,319			
経常収支比率	84.4		103.3	101.8
医業収支比率	49.9		85.5	61.1
修正医業収支比率	48.5		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	37.8		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	65.5		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	37.8		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	52.5		91.9	68.3

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円・%)

区分	決算額
資産合計	33,718,090
１ 固定資産	20,369,285
（1）有形固定資産	19,230,754
（2）無形固定資産	5,035
（3）投資その他の資産	1,133,496
２ 流動資産	13,348,805
（1）現金及び預金	9,101,555
（2）未収金及び未収収益	3,958,706
（3）貸倒引当金（△）	30,397
（4）貯蔵品	300,277
３ 繰延資産	-
負債合計	28,534,846
１ 固定負債	20,912,975
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,284,338
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	93,638
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	2,534,999
（7）リース債務	-
２ 流動負債	5,081,562
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,498,230
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	70,367
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	876,194
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	2,532,207
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	2,540,309
（1）長期前受金	11,114,614
（2）長期前受金収益化累計額（△）	8,574,305
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	5,183,244
１ 資本金	6,178,126
２ 剰余金	-994,882
（1）資本剰余金	249,950
（2）利益剰余金	-1,244,832
負債・資本合計	33,718,090
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	782,870	587,678
資本勘定繰入	20,642	27,855
計	803,512	615,533

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-
令和２年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	5.5
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和４年度）

都道府県名	香川県

市町村・組合名	
病院名	白鳥病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	10,342 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	13	指定病院の状況	救臨へ輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般	148	60.3	61.4	56.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	60.3	61.4	56.6
平均在院日数（一般病床のみ）		19.6	17.7	16.7

設立団体の状況		
人口（人）		950,244
決算規模（千円）		501,282,880
標準財政規模（千円）		268,414,402
財政力指数		0.45137
経常収支比率（%）		94.0
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.9
	将来負担比率（%）	170.9

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,795,121			
１ 経常収益	2,795,108			
（１）医業収益	2,112,804			
（うち修正医業収益）	2,063,357			
① 入院収益	1,320,638			
② 外来収益	681,463			
診療収入計	2,002,101			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	110,703			
（うち他会計負担金）	49,447			
（２）医業外収益	682,304			
（うち国・都道府県補助金）	225,732			
（うち他会計補助・負担金）	344,790			
（うち長期前受金戻入）	105,089			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	13			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	3,097,357			
２ 経常費用	3,097,142			
（１）医業費用	2,959,907			
① 職員給与費	1,749,527	82.8	59.4	67.0
② 材料費	454,824	21.5	26.1	18.2
（うち薬品費）	160,327	7.6	14.0	8.3
（うち薬品費以外の医薬材料費）	293,675	13.9	11.8	9.4
③ 減価償却費	196,497	9.3	8.7	10.2
④ 経費	541,995	25.7	22.1	28.8
（うち委託料）	277,731	13.1	11.7	13.2
⑤ 研究研修費	4,841			
⑥ 資産減耗費	12,223			
（２）医業外費用	137,235			
（うち支払利息）	45,070	2.1	1.0	1.1
（３）特別損失	215			
損益 経常損益	-302,034			
損益 純損益	-302,236			
累積欠損金	2,572,997			
経常収支比率	90.2		103.3	104.5
医業収支比率	71.4		85.5	80.1
修正医業収支比率	69.7		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	14.1		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	18.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	14.1		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	77.5		91.9	88.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円・%)

区分	決算額
資産合計	33,718,090
１ 固定資産	20,369,285
（１）有形固定資産	19,230,754
（２）無形固定資産	5,035
（３）投資その他の資産	1,133,496
２ 流動資産	13,348,805
（１）現金及び預金	9,101,555
（２）未収金及び未収収益	3,958,706
（３）貸倒引当金（△）	30,397
（４）貯蔵品	300,277
３ 繰延資産	-
負債合計	28,534,846
１ 固定負債	20,912,975
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,284,338
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	93,638
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	2,534,999
（７）リース債務	-
２ 流動負債	5,081,562
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,498,230
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	70,367
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	876,194
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	2,532,207
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	2,540,309
（１）長期前受金	11,114,614
（２）長期前受金収益化累計額（△）	8,574,305
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	5,183,244
１ 資本金	6,178,126
２ 剰余金	-994,882
（１）資本剰余金	249,950
（２）利益剰余金	-1,244,832
負債・資本合計	33,718,090
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	428,552	394,237
資本勘定繰入	88,439	94,078
計	516,991	488,315

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-
令和２年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	5.5
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和４年度）

都道府県名	香川県
市町村・組合名	高松市
病院名	みんなの病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	27,300 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨　感へ災地　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般	299	75.9	79.1	75.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	61.2	64.7	52.6
計	305	75.6	78.8	75.1
平均在院日数（一般病床のみ）		13.3	12.1	13.0

設立団体の状況		
人口（人）		417,496
決算規模（千円）		173,425,179
標準財政規模（千円）		99,165,011
財政力指数		0.79
経常収支比率（%）		94.1
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.0
	将来負担比率（%）	66.8

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,862,354			
１ 経常収益	9,832,684			
（１）医業収益	7,795,659			
（うち修正医業収益）	7,209,920			
① 入院収益	5,048,342			
② 外来収益	1,835,159			
診療収入計	6,883,501			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	912,158			
（うち他会計負担金）	585,739			
（２）医業外収益	2,037,025			
（うち国・都道府県補助金）	986,947			
（うち他会計補助・負担金）	700,342			
（うち長期前受金戻入）	317,743			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	29,670			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	9,307,186			
２ 経常費用	9,242,020			
（１）医業費用	8,881,887			
① 職員給与費	4,644,398	59.6	59.4	59.0
② 材料費	1,658,741	21.3	26.1	25.6
（うち薬品費）	917,163	11.8	14.0	13.9
（うち薬品費以外の医薬材料費）	741,578	9.5	11.8	11.2
③ 減価償却費	1,092,160	14.0	8.7	8.6
④ 経費	1,450,232	18.6	22.1	21.3
（うち委託料）	746,174	9.6	11.7	11.6
⑤ 研究研修費	17,821			
⑥ 資産減耗費	18,535			
（２）医業外費用	360,133			
（うち支払利息）	75,769	1.0	1.0	1.1
（３）特別損失	65,166			
損益 経常損益	590,664			
損益 純損益	555,168			
累積欠損金	12,064,305			
経常収支比率	106.4		103.3	104.8
医業収支比率	87.8		85.5	87.0
修正医業収支比率	81.2		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	16.5		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	13.0		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	92.5		91.9	95.1

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円・%）

区分	決算額
資産合計	22,017,589
１ 固定資産	16,247,089
（１）有形固定資産	15,244,625
（２）無形固定資産	2,656
（３）投資その他の資産	999,808
２ 流動資産	5,770,500
（１）現金及び預金	4,187,720
（２）未収金及び未収収益	1,458,825
（３）貸倒引当金（△）	12,105
（４）貯蔵品	136,010
３ 繰延資産	-
負債合計	20,457,340
１ 固定負債	16,719,973
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,987,689
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	2,490,250
（６）引当金	2,242,034
（７）リース債務	-
２ 流動負債	2,623,994
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	950,427
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	138,250
（５）引当金	330,003
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	1,095,786
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	1,113,373
（１）長期前受金	2,954,955
（２）長期前受金収益化累計額（△）	1,841,582
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,560,249
１ 資本金	13,973,333
２ 剰余金	-12,413,084
（１）資本剰余金	177,942
（２）利益剰余金	-12,591,026
負債・資本合計	22,017,589
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,397,996	1,286,081
資本勘定繰入	394,094	404,513
計	1,792,090	1,690,594

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-
令和２年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	156.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和４年度）

都道府県名	香川県

市町村・組合名	高松市
病院名	市民病院塩江分院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,621 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	7	指定病院の状況	へ
許可公営企業		看護配置	２０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般	-	-	-	-
療養	87	20.9	30.2	34.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	87	20.9	30.2	34.7
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口（人）		417,496
決算規模（千円）		173,425,179
標準財政規模（千円）		99,165,011
財政力指数		0.79
経常収支比率（%）		94.1
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.0
	将来負担比率（%）	66.8

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	593,802			
１ 経常収益	592,206			
（1）医業収益	273,702			
（うち修正医業収益）	273,702			
① 入院収益	102,991			
② 外来収益	162,195			
診療収入計	265,186			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	8,516			
（うち他会計負担金）	-			
（2）医業外収益	318,504			
（うち国・都道府県補助金）	1,162			
（うち他会計補助・負担金）	311,754			
（うち長期前受金戻入）	2,369			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	1,596			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	614,101			
２ 経常費用	613,616			
（1）医業費用	599,080			
① 職員給与費	415,812	151.9	59.4	76.5
② 材料費	71,834	26.2	26.1	14.9
（うち薬品費）	58,021	21.2	14.0	7.9
（うち薬品費以外の医薬材料費）	8,999	3.3	11.8	6.4
③ 減価償却費	11,479	4.2	8.7	11.5
④ 経費	98,491	36.0	22.1	32.6
（うち委託料）	38,340	14.0	11.7	14.8
⑤ 研究研修費	1,367			
⑥ 資産減耗費	97			
（2）医業外費用	14,536			
（うち支払利息）	582	0.2	1.0	1.3
（3）特別損失	485			
損益 経常損益	-21,410			
損益 純損益	-20,299			
累積欠損金	526,721			
経常収支比率	96.5		103.3	101.5
医業収支比率	45.7		85.5	73.2
修正医業収支比率	45.7		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	52.6		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	113.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	52.5		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	45.7		91.9	78.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円・%）

区分	決算額
資産合計	22,017,589
１ 固定資産	16,247,089
（1）有形固定資産	15,244,625
（2）無形固定資産	2,656
（3）投資その他の資産	999,808
２ 流動資産	5,770,500
（1）現金及び預金	4,187,720
（2）未収金及び未収収益	1,458,825
（3）貸倒引当金（△）	12,105
（4）貯蔵品	136,010
３ 繰延資産	-
負債合計	20,457,340
１ 固定負債	16,719,973
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,987,689
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	2,490,250
（6）引当金	2,242,034
（7）リース債務	-
２ 流動負債	2,623,994
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	950,427
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	138,250
（5）引当金	330,003
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	1,095,786
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	1,113,373
（1）長期前受金	2,954,955
（2）長期前受金収益化累計額（△）	1,841,582
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,560,249
１ 資本金	13,973,333
２ 剰余金	-12,413,084
（1）資本剰余金	177,942
（2）利益剰余金	-12,591,026
負債・資本合計	22,017,589
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	314,856	311,754
資本勘定繰入	2,798	14,766
計	317,654	326,520

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-
令和２年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	156.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和４年度）

都道府県名	香川県

市町村・組合名	坂出市
病院名	市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	15,888 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	23	指定病院の状況	救臨　感へ　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般	190	77.0	71.4	72.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	92.1	76.3	66.0
計	194	77.4	71.5	72.2
平均在院日数（一般病床のみ）		11.0	11.6	11.8

設立団体の状況		
人口（人）		50,624
決算規模（千円）		26,835,424
標準財政規模（千円）		14,104,835
財政力指数		0.80
経常収支比率（%）		87.0
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.9
	将来負担比率（%）	73.8

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,983,631			
１ 経常収益	7,849,260			
（１）医業収益	6,350,652			
（うち修正医業収益）	6,264,488			
① 入院収益	3,401,528			
② 外来収益	2,665,882			
診療収入計	6,067,410			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	283,242			
（うち他会計負担金）	86,164			
（２）医業外収益	1,498,608			
（うち国・都道府県補助金）	1,027,746			
（うち他会計補助・負担金）	196,372			
（うち長期前受金戻入）	252,129			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	134,371			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	6,817,875			
２ 経常費用	6,778,083			
（１）医業費用	6,415,418			
① 職員給与費	2,951,190	46.5	59.4	67.0
② 材料費	2,129,823	33.5	26.1	18.2
（うち薬品費）	1,445,366	22.8	14.0	8.3
（うち薬品費以外の医薬材料費）	684,457	10.8	11.8	9.4
③ 減価償却費	408,647	6.4	8.7	10.2
④ 経費	910,492	14.3	22.1	28.8
（うち委託料）	508,647	8.0	11.7	13.2
⑤ 研究研修費	7,103			
⑥ 資産減耗費	8,163			
（２）医業外費用	362,665			
（うち支払利息）	59,459	0.9	1.0	1.1
（３）特別損失	39,792			
損益 経常損益	1,071,177			
損益 純損益	1,165,756			
累積欠損金	-			
経常収支比率	115.8		103.3	104.5
医業収支比率	99.0		85.5	80.1
修正医業収支比率	97.6		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	3.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	4.4		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	3.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	111.6		91.9	88.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円・%）

区分	決算額
資産合計	12,515,254
１ 固定資産	5,481,454
（１）有形固定資産	5,150,902
（２）無形固定資産	609
（３）投資その他の資産	329,943
２ 流動資産	7,033,800
（１）現金及び預金	5,387,232
（２）未収金及び未収収益	1,020,295
（３）貸倒引当金（△）	2,181
（４）貯蔵品	12,586
３ 繰延資産	-
負債合計	8,061,077
１ 固定負債	5,962,328
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,824,656
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	1,137,672
（７）リース債務	-
２ 流動負債	901,821
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	356,135
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	161,039
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	331,268
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	1,196,928
（１）長期前受金	2,626,917
（２）長期前受金収益化累計額（△）	1,429,989
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	4,454,177
１ 資本金	2,011,253
２ 剰余金	2,589,603
（１）資本剰余金	8,591
（２）利益剰余金	2,581,012
負債・資本合計	12,515,254
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	424,006	282,536
資本勘定繰入	176,533	176,533
計	600,539	459,069

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-
令和２年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和４年度）

都道府県名	香川県

市町村・組合名	さぬき市
病院名	さぬき市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	14,884 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	23	指定病院の状況	救臨　感へ災　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般	175	64.9	69.2	72.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	44.7	49.3	26.1
計	179	64.4	68.8	71.1
平均在院日数（一般病床のみ）		17.0	15.7	18.3

設立団体の状況

人口（人）		47,003
決算規模（千円）		27,217,573
標準財政規模（千円）		15,402,376
財政力指数		0.39
経常収支比率（%）		96.4
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.5
	将来負担比率（%）	-

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,775,188			
１ 経常収益	5,765,238			
（１）医業収益	4,174,657			
（うち修正医業収益）	4,051,365			
① 入院収益	2,063,675			
② 外来収益	1,758,121			
診療収入計	3,821,796			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	352,861			
（うち他会計負担金）	123,292			
（２）医業外収益	1,590,581			
（うち国・都道府県補助金）	965,983			
（うち他会計補助・負担金）	315,431			
（うち長期前受金戻入）	196,723			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	9,950			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	5,324,391			
２ 経常費用	5,314,441			
（１）医業費用	5,101,665			
① 職員給与費	2,890,986	69.3	59.4	67.0
② 材料費	1,117,323	26.8	26.1	18.2
（うち薬品費）	691,597	16.6	14.0	8.3
（うち薬品費以外の医薬材料費）	396,991	9.5	11.8	9.4
③ 減価償却費	316,892	7.6	8.7	10.2
④ 経費	750,798	18.0	22.1	28.8
（うち委託料）	328,224	7.9	11.7	13.2
⑤ 研究研修費	15,632			
⑥ 資産減耗費	10,034			
（２）医業外費用	212,776			
（うち支払利息）	35,723	0.9	1.0	1.1
（３）特別損失	9,950			
損益 経常損益	450,797			
損益 純損益	450,797			
累積欠損金	1,241,444			
経常収支比率	108.5		103.3	104.5
医業収支比率	81.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	79.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	7.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	100.2		91.9	88.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円・%）

区分	決算額
資産合計	7,973,372
１ 固定資産	5,263,780
（１）有形固定資産	4,266,532
（２）無形固定資産	4,364
（３）投資その他の資産	992,884
２ 流動資産	2,709,592
（１）現金及び預金	1,701,452
（２）未収金及び未収収益	956,320
（３）貸倒引当金（△）	996
（４）貯蔵品	47,380
３ 繰延資産	-
負債合計	4,408,886
１ 固定負債	2,473,543
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,073,543
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	400,000
（６）引当金	-
（７）リース債務	-
２ 流動負債	776,477
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	256,209
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	188,106
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	308,644
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	1,158,866
（１）長期前受金	2,881,096
（２）長期前受金収益化累計額（△）	1,722,230
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	3,564,486
１ 資本金	4,749,680
２ 剰余金	-1,185,194
（１）資本剰余金	3,650
（２）利益剰余金	-1,188,844
負債・資本合計	7,973,372
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	442,778	438,723
資本勘定繰入	139,772	139,772
計	582,550	578,495

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-
令和２年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	29.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和４年度）

都道府県名
香川県

市町村・組合名	三豊市
病院名	みとよ市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	9,813 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	11	指定病院の状況	救臨へ輪
許可公営企業		看護配置	１３：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般	46	82.8	69.8	63.6
療養	46	77.5	56.8	46.4
結核	-	-	-	-
精神	30	49.9	30.0	32.4
感染症	-	-	-	-
計	122	72.7	50.8	46.6
平均在院日数（一般病床のみ）		30.4	29.5	28.0

設立団体の状況

人口（人）		61,857
決算規模（千円）		35,658,819
標準財政規模（千円）		20,575,831
財政力指数		0.42
経常収支比率（%）		98.4
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.8
	将来負担比率（%）	-

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,006,708			
１ 経常収益	1,989,592			
（1）医業収益	1,602,601			
（うち修正医業収益）	1,444,190			
① 入院収益	861,415			
② 外来収益	492,734			
診療収入計	1,354,149			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	248,452			
（うち他会計負担金）	158,411			
（2）医業外収益	386,991			
（うち国・都道府県補助金）	39,066			
（うち他会計補助・負担金）	190,678			
（うち長期前受金戻入）	153,606			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	17,116			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	2,103,855			
２ 経常費用	2,097,316			
（1）医業費用	1,935,791			
① 職員給与費	1,104,636	68.9	59.4	67.0
② 材料費	221,806	13.8	26.1	18.2
（うち薬品費）	137,320	8.6	14.0	8.3
（うち薬品費以外の医薬材料費）	84,486	5.3	11.8	9.4
③ 減価償却費	61,885	3.9	8.7	10.2
④ 経費	522,746	32.6	22.1	28.8
（うち委託料）	213,880	13.3	11.7	13.2
⑤ 研究研修費	24,718			
⑥ 資産減耗費	-			
（2）医業外費用	161,525			
（うち支払利息）	29,355	1.8	1.0	1.1
（3）特別損失	6,539			
損益 経常損益	-107,724			
損益 純損益	-97,147			
累積欠損金	1,000,994			
経常収支比率	94.9		103.3	104.5
医業収支比率	82.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	74.6		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	17.5		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	21.8		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	17.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	78.2		91.9	88.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円・%）

区分	決算額
資産合計	8,743,705
１ 固定資産	7,649,975
（1）有形固定資産	7,639,503
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	10,472
２ 流動資産	1,093,730
（1）現金及び預金	849,286
（2）未収金及び未収収益	238,076
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	6,112
３ 繰延資産	-
負債合計	6,070,876
１ 固定負債	5,009,493
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,453,493
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	-
２ 流動負債	390,261
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	144,511
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	77,446
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	165,827
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	671,122
（1）長期前受金	2,408,587
（2）長期前受金収益化累計額（△）	1,737,465
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	2,672,829
１ 資本金	1,346,668
２ 剰余金	1,326,161
（1）資本剰余金	1,689,758
（2）利益剰余金	-363,597
負債・資本合計	8,743,705
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	349,089	349,089
資本勘定繰入	159,603	159,603
計	508,692	508,692

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-
令和２年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	60.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和４年度)

都道府県名	香川県

市町村・組合名	三豊市
病院名	西香川病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	11,789 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	3	指定病院の状況	臨
許可公営企業		看護配置	２０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般	-	-	-	-
療養	90	92.0	94.0	94.4
結核	-	-	-	-
精神	60	96.4	95.1	96.8
感染症	-	-	-	-
計	150	93.8	94.4	95.3
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口 (人)		61,857
決算規模 (千円)		35,658,819
標準財政規模 (千円)		20,575,831
財政力指数		0.42
経常収支比率 (%)		98.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	7.8
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	218,498			
1 経常収益	218,255			
(1) 医業収益	1,513			
(うち修正医業収益)	1,513			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	1,513			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	216,742			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	183,786			
(うち長期前受金戻入)	32,915			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	243			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	181,877			
2 経常費用	181,877			
(1) 医業費用	175,809			
① 職員給与費	-	-	59.4	67.0
② 材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
③ 減価償却費	76,033	5025.3	8.7	10.2
④ 経費	97,417	6438.7	22.1	28.8
(うち委託料)	90,820	6002.6	11.7	13.2
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	2,359			
(2) 医業外費用	6,068			
(うち支払利息)	6,068	401.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	36,378			
損益 純損益	36,621			
累積欠損金	-			
経常収支比率	120.0		103.3	104.5
医業収支比率	0.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	0.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	84.2		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	12147.1		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	84.1		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	19.0		91.9	88.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	8,743,705
1 固定資産	7,649,975
(1) 有形固定資産	7,639,503
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	10,472
2 流動資産	1,093,730
(1) 現金及び預金	849,286
(2) 未収金及び未収収益	238,076
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	6,112
3 繰延資産	-
負債合計	6,070,876
1 固定負債	5,009,493
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,453,493
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	390,261
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	144,511
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	77,446
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	165,827
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	671,122
(1) 長期前受金	2,408,587
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	1,737,465
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額 (△)	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額 (△)	-
資本合計	2,672,829
1 資本金	1,346,668
2 剰余金	1,326,161
(1) 資本剰余金	1,689,758
(2) 利益剰余金	-363,597
負債・資本合計	8,743,705
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	185,507	183,786
資本勘定繰入	34,094	18,066
計	219,601	201,852

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-
令和２年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	60.1
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和４年度）

都道府県名	香川県

市町村・組合名	土庄町
病院名	国保土庄中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口（人）		12,846
決算規模（千円）		9,755,626
標準財政規模（千円）		5,303,327
財政力指数		0.32
経常収支比率（%）		90.5
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.7
	将来負担比率（%）	22.7

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,277			
１ 経常収益	7,277			
（１）医業収益	-			
（うち修正医業収益）	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	-			
（うち他会計負担金）	-			
（２）医業外収益	7,277			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	7,277			
（うち長期前受金戻入）	-			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	7,277			
２ 経常費用	7,277			
（１）医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	59.4	67.0
② 材料費	-	-	26.1	18.2
（うち薬品費）	-	-	14.0	8.3
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.8	9.4
③ 減価償却費	-	-	8.7	10.2
④ 経費	-	-	22.1	28.8
（うち委託料）	-	-	11.7	13.2
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
（２）医業外費用	7,277			
（うち支払利息）	7,277	-	1.0	1.1
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	-		91.9	88.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円・%）

区分	決算額
資産合計	-
１ 固定資産	-
（１）有形固定資産	-
（２）無形固定資産	-
（３）投資その他の資産	-
２ 流動資産	-
（１）現金及び預金	-
（２）未収金及び未収収益	-
（３）貸倒引当金（△）	-
（４）貯蔵品	-
３ 繰延資産	-
負債合計	-
１ 固定負債	-
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	-
（７）リース債務	-
２ 流動負債	-
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	-
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	-
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	-
（１）長期前受金	-
（２）長期前受金収益化累計額（△）	-
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	-
１ 資本金	-
２ 剰余金	-
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,851	7,277
資本勘定繰入	35,563	53,344
計	40,414	60,621

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-
令和２年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和４年度）

都道府県名	香川県

市町村・組合名	小豆島町
病院名	内海病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口 (人)		13,870
決算規模 (千円)		10,942,502
標準財政規模 (千円)		5,814,628
財政力指数		0.29
経常収支比率 (%)		90.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.2
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	27,446			
1 経常収益	27,446			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	27,446			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	27,446			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	27,446			
2 経常費用	27,446			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	59.4	67.0
② 材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
③ 減価償却費	-	-	8.7	10.2
④ 経費	-	-	22.1	28.8
(うち委託料)	-	-	11.7	13.2
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	27,446			
(うち支払利息)	27,446	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.5
医業収支比率	-		85.5	80.1
修正医業収支比率	-		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	-		91.9	88.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額 (△)	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	18,287	27,446
資本勘定繰入	156,904	237,218
計	175,191	264,664

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-
令和２年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和４年度）

都道府県名	香川県

市町村・組合名	綾川町
病院名	綾川町国民健康保険陶病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	6,157 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	臨　へ
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般	35	77.4	78.0	79.4
療養	28	79.0	73.4	71.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	63	78.1	76.0	75.8
平均在院日数（一般病床のみ）		19.6	8.4	10.9

設立団体の状況

人口 (人)		22,693
決算規模 (千円)		12,118,864
標準財政規模 (千円)		7,008,227
財政力指数		0.50
経常収支比率 (%)		82.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-2.4
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,325,972			
１ 経常収益	1,325,972			
（1）医業収益	1,216,454			
（うち修正医業収益）	1,216,454			
① 入院収益	498,171			
② 外来収益	607,709			
診療収入計	1,105,880			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	110,574			
（うち他会計負担金）	-			
（2）医業外収益	109,518			
（うち国・都道府県補助金）	9,228			
（うち他会計補助・負担金）	70,000			
（うち長期前受金戻入）	5,599			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,262,325			
２ 経常費用	1,262,325			
（1）医業費用	1,185,145			
① 職員給与費	713,549	58.7	59.4	76.5
② 材料費	130,368	10.7	26.1	14.9
（うち薬品費）	59,394	4.9	14.0	7.9
（うち薬品費以外の医薬材料費）	70,974	5.8	11.8	6.4
③ 減価償却費	43,544	3.6	8.7	11.5
④ 経費	288,572	23.7	22.1	32.6
（うち委託料）	139,901	11.5	11.7	14.8
⑤ 研究研修費	1,979			
⑥ 資産減耗費	7,133			
（2）医業外費用	77,180			
（うち支払利息）	14,314	1.2	1.0	1.3
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	63,647			
損益 純損益	63,647			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.0		103.3	101.5
医業収支比率	102.6		85.5	73.2
修正医業収支比率	102.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	5.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	5.8		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	5.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	99.5		91.9	78.8

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円・%)

区分	決算額
資産合計	3,765,347
１ 固定資産	1,192,943
（1）有形固定資産	1,192,943
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	2,572,404
（1）現金及び預金	2,392,902
（2）未収金及び未収収益	175,306
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	4,196
３ 繰延資産	-
負債合計	962,870
１ 固定負債	643,067
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	643,067
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	-
（7）リース債務	-
２ 流動負債	172,934
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	64,496
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	43,900
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	45,574
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	146,869
（1）長期前受金	358,104
（2）長期前受金収益化累計額（△）	211,235
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	2,802,477
１ 資本金	1,590,616
２ 剰余金	1,211,861
（1）資本剰余金	4,046
（2）利益剰余金	1,207,815
負債・資本合計	3,765,347
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	85,263	70,000
資本勘定繰入	83,212	-
計	168,475	70,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-
令和２年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和４年度）

都道府県名	香川県

市町村・組合名	三豊総合病院企業団
病院名	三豊総合病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	44,942 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が感へ災地　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般	458	74.9	74.5	74.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	63.1	46.7	21.4
計	462	74.8	74.2	73.9
平均在院日数（一般病床のみ）		14.7	14.4	14.3

設立団体の状況		
人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,762,147			
１ 経常収益	12,757,534			
（１）医業収益	11,178,144			
（うち修正医業収益）	10,506,243			
① 入院収益	6,863,772			
② 外来収益	3,367,286			
診療収入計	10,231,058			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	947,086			
（うち他会計負担金）	671,901			
（２）医業外収益	1,579,390			
（うち国・都道府県補助金）	836,233			
（うち他会計補助・負担金）	126,697			
（うち長期前受金戻入）	90,913			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	4,613			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	12,379,346			
２ 経常費用	12,362,539			
（１）医業費用	11,872,213			
① 職員給与費	6,190,920	55.4	59.4	57.2
② 材料費	2,632,369	23.5	26.1	28.0
（うち薬品費）	1,306,782	11.7	14.0	14.9
（うち薬品費以外の医薬材料費）	1,231,304	11.0	11.8	12.7
③ 減価償却費	884,685	7.9	8.7	8.0
④ 経費	2,099,329	18.8	22.1	19.0
（うち委託料）	1,026,467	9.2	11.7	10.0
⑤ 研究研修費	61,010			
⑥ 資産減耗費	3,900			
（２）医業外費用	490,326			
（うち支払利息）	32,538	0.3	1.0	1.0
（３）特別損失	16,807			
損益 経常損益	394,995			
損益 純損益	382,801			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.2		103.3	103.2
医業収支比率	94.2		85.5	88.6
修正医業収支比率	88.5		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.1		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	6.3		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	96.7		91.9	93.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円・%)

区分	決算額
資産合計	30,655,121
１ 固定資産	13,399,380
（１）有形固定資産	10,665,400
（２）無形固定資産	999
（３）投資その他の資産	2,732,981
２ 流動資産	17,255,741
（１）現金及び預金	14,271,972
（２）未収金及び未収収益	2,538,795
（３）貸倒引当金（△）	5,024
（４）貯蔵品	103,162
３ 繰延資産	-
負債合計	6,183,377
１ 固定負債	1,864,366
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,340,125
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	-
（６）引当金	524,241
（７）リース債務	-
２ 流動負債	2,955,830
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	166,617
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	346,837
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	456,886
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	1,938,668
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	1,363,181
（１）長期前受金	3,375,089
（２）長期前受金収益化累計額（△）	2,011,908
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	24,471,744
１ 資本金	15,618,000
２ 剰余金	8,853,744
（１）資本剰余金	191,230
（２）利益剰余金	8,662,514
負債・資本合計	30,655,121
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,465,963	798,598
資本勘定繰入	1,323,633	-
計	2,789,596	798,598

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-
令和２年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和４年度）

都道府県名	香川県

市町村・組合名	小豆島中央病院企業団
病院名	小豆島中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	17,850 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	13	指定病院の状況	救臨　感へ災
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	令和４年度	令和３年度	令和２年度
一般	194	64.6	62.8	64.5
療養	31	94.4	87.1	76.7
結核	5	0.5	3.6	10.2
精神	-	-	-	-
感染症	4	41.0	24.0	7.7
計	234	66.8	64.1	64.1
平均在院日数（一般病床のみ）		13.7	12.6	14.2

設立団体の状況		
人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,038,156			
１ 経常収益	4,988,721			
（１）医業収益	3,616,055			
（うち修正医業収益）	3,546,055			
① 入院収益	1,903,856			
② 外来収益	1,415,679			
診療収入計	3,319,535			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	296,520			
（うち他会計負担金）	70,000			
（２）医業外収益	1,372,666			
（うち国・都道府県補助金）	678,841			
（うち他会計補助・負担金）	418,984			
（うち長期前受金戻入）	133,692			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	49,435			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	4,607,148			
２ 経常費用	4,591,574			
（１）医業費用	4,289,989			
① 職員給与費	2,439,853	67.5	59.4	63.7
② 材料費	643,876	17.8	26.1	21.0
（うち薬品費）	339,910	9.4	14.0	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	260,299	7.2	11.8	10.1
③ 減価償却費	381,951	10.6	8.7	9.7
④ 経費	813,110	22.5	22.1	28.9
（うち委託料）	291,387	8.1	11.7	13.6
⑤ 研究研修費	8,676			
⑥ 資産減耗費	2,523			
（２）医業外費用	301,585			
（うち支払利息）	11,297	0.3	1.0	1.1
（３）特別損失	15,574			
損益 経常損益	397,147			
損益 純損益	431,008			
累積欠損金	94,457			
経常収支比率	108.6		103.3	101.8
医業収支比率	84.3		85.5	80.8
修正医業収支比率	82.7		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.5		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	9.7		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	98.0		91.9	89.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円・%)

区分	決算額
資産合計	8,123,710
１ 固定資産	5,535,461
（１）有形固定資産	5,076,159
（２）無形固定資産	6,313
（３）投資その他の資産	452,989
２ 流動資産	2,588,249
（１）現金及び預金	1,522,248
（２）未収金及び未収収益	955,137
（３）貸倒引当金（△）	317
（４）貯蔵品	-
３ 繰延資産	-
負債合計	4,655,758
１ 固定負債	2,420,094
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,960,733
（２）その他の企業債	-
（３）再建債（特例債含む）	-
（４）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（５）その他の長期借入金	180,000
（６）引当金	272,484
（７）リース債務	6,877
２ 流動負債	481,400
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	90,190
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	120,609
（６）リース債務	2,942
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	217,225
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	1,754,264
（１）長期前受金	2,999,311
（２）長期前受金収益化累計額（△）	1,245,047
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	3,467,952
１ 資本金	3,562,409
２ 剰余金	-94,457
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-94,457
負債・資本合計	8,123,710
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	775,830	488,984
資本勘定繰入	128,327	76,600
計	904,157	565,584

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-
令和２年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	2.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。